

〒130-0004 東京都墨田区本所1-3-7 03 (3621) 6171 ライオン健康保険組合

「平成24年度決算、組合会で承認」

平成25年7月19日に開催された第150回組合会において、平成24年度の事業報告及び収入支出決算報告が審議・承認されましたので、その概要をご報告致します。一般勘定は約190百万円の黒字決算、介護勘定は約32百万円の赤字決算となりました。この結果、平成24年度末の総財産は一般勘定1,393.8百万円（法定準備金606.5百万円、別途積立金787.0百万円、その他財産0.4百万円）、介護勘定46.1百万円となりました。

事業概要

健保組合を取り巻く環境は、健康保険組合全体の8割の健保組合が赤字財政と言われております。社会保障と税の一体改革として消費税は増税の方向に向かっておりますが、「高齢者医療制度」の動きを含め状況は不透明・不安定であり、拠出金や生活習慣病対策の「特定健診と特定保健指導への対応」が、引き続き健保の組合財政の負担となっております。

当健保組合は、事業体及び被保険者の皆様のご理解とご協力のもと、24年度の健康保険料率に関しましては、一般で75.0 / 1000、介護で10.0 / 1000と据え置いた上で、健保組合の基本である「保険給付」及び「保健事業」に重点をおいて事業を推進してきました。この結果、一般勘定の収入支出決算状況は、総収入金額2,298,762千円、総支出2,108,656千円で実質190,106千円の黒字となりました。

また、介護勘定は、総収入219,032千円、総支出251,167千円で、32,135千円の実質赤字となりました。

適用状況は、被保険者数が平成24年度は前年とほぼ同数の4,771人となりました。一方、被扶養者は前年度より91人減の4,801人で、総加入者は9,572人（前年比99.1%）となりました。

総保険給付費は1,163,338千円で、前年度より23,069千円増加しました（前年比102.0%）。

保健事業は計画通り遂行し、主な事業は、疾病予防、健康づくり運動、保健指導宣伝（健保ニュース、健康講話等）、体育奨励事業等です。

特に、疾病予防においては、従来実施していた、健康づくりセミナー（LIS21）、ライオン歯科予防プログラム（ALOHA）、の実施、老人加入者等健康教育指導事業などに加え、特定健診・特定保健指導を対応するため、アウトソーシング（三菱化学メディアエンス）による家族健診の継続、婦人科健診における乳房マンモグラフィーの導入（40歳以上偶数年齢者）、被保険者に対する特定保健指導としての動機付け支援、積極的支援等を実施しました。

決 算 概 要

一般勘定における決算は、総収入 2,298,762 千円、総支出 2,108,656 千円で、実質 190,106 千円の黒字となりました。

1. 収入面 ⇒ 予算段階では、健康保険料率据置、被保険者は若干減、平均標準報酬月額を前年から若干減とし、予算を組みました。
実績としましては、被保険者が前年並、再雇用者の制度変更がプラス要因で総収入金額が 2,298,762 千円となりました。
2. 支出面 ⇒ 総拠出金は 697,771 千円（保険料収入の 31.8%）で、前年度比 158,397 千円減。内訳は前期高齢者納付金 67,307 千円、後期高齢者支援金 501,096 千円、退職者給付拠出金 129,350 千円等です。予算と比較して、保健事業費（80 百万円減）及び事務費（10 百万円減）において経費節減を行いました。

介護勘定における決算は、保険料徴収対象者数 3,175 人、総収入金額 219,032 千円、総支出金額 251,167 千円で、32,135 千円の赤字となりました。

収入支出決算残金処分後の財産状況を下記に示します。

平 成 2 4 年 度 末 財 産 目 録

収支決算の結果、平成 24 年度残金処分後の健康保険組合の財産は次の通りとなりました。

【一般勘定】

種 別	平成 24 年度残金処分後（千円）
法定準備金	606,455
別途積立金	786,958
土地	0
建物	0
建築物	0
器具	250
無形固定資産	180
計	1,393,843

【介護勘定】

種 別	平成 24 年度残金処分後（千円）
準備金	46,120
合 計	46,120

平成24年度収入支出決算（一般勘定分）

＜健保組合運営の基礎数値＞（平成24年3月～25年2月平均）

平均標準報酬月額	392,577円	被扶養者数	4,801人
被保険者数	4,771人	扶養率	1.01人
平均年齢	44.42歳		

＜ 収 入 の 部 ＞		＜ 支 出 の 部 ＞	
科 目	実績値（千円）	科 目	実績値（千円）
健康保険料収入	2,195,102	事務費	57,135
国庫負担金	861	保険給付費	1,163,338
利子収入	3,755	拠出金	697,771
施設利用料	6,500	保健事業費	150,022
国庫補助金収入	2,130	連合会費	1,125
特定健診等事業収入	25,276	雑支出	545
その他雑入	1,469		
小計（経常収入）	2,235,093	小計（経常支出）	2069,936
調整保険料収入	38,719	財政調整事業拠出金	38,720
財政調整事業交付金	24,950		
国庫補助金（その他）			
収入合計	2,298,762	支出合計	2,108,656

平成24年度収入支出決算（介護勘定分）

＜健保組合運営の基礎数値＞（平成24年3月～25年2月平均）

平均標準報酬月額	431,146円	（介護保険料徴収対象者の平均）	
介護保険対象者数	4,537人	⇒	40歳～65歳未満の被保険者及び被扶養者
介護保険料徴収対象者数	3,175人	⇒	40歳～65歳未満の被保険者及び40歳未満の被保険者（40歳～65歳未満の被扶養者がいる人）

＜ 収 入 の 部 ＞		＜ 支 出 の 部 ＞	
科 目	実績値（千円）	科 目	実績値（千円）
介護保険料	219,032	介護給付金	251,167
その他雑入	0	その他	0
収入合計	219,032	支出合計	251,167

保健事業報告

1. 保健指導宣伝事業

健保ニュース、医療費のお知らせ等を配布し、保険給付への理解促進と医療費適正化への啓発活動を行いました。

また、事業主と協同し健康管理推進委員会や事業所健保窓口担当者打合せ会の開催により、保健指導の推進・情報交換を行いました。各事業所では、衛生講話、健康講話、健康教室、心の健康づくり指導、健康PR紙の配布等により保健衛生普及活動を行いました。

2. 疾病予防事業（含む 特定健診・特定保健指導）

(1) 特定健診・特定保健指導

平成20年度に開始した生活習慣病の予防を目的とした特定健診・特定保健指導の義務化への取組みを継続して実施しました。

特定健診は40歳以上74歳以下の被保険者及び被扶養者が対象となるため、昨年度と同様従来実施していたドック健診及び家族健診を通して行いました。被保険者に対しては事業体にて実施し、一方、被扶養者及び任意継続被保険者（含む家族）に対しては外部機関（三菱化学メディエンス）への委託により行いました。また、婦人科健診の乳ガン検査では35歳以上のエコー検査とともに、40歳以上では偶数年齢対象者に乳房X線（マンモグラフィ）検査を継続して行っています。

特定保健指導については、健診データの階層化に基づき平成24年度の被保険者に対する動機付け支援を中心に実施しました。積極的支援については、平成24年度より全国展開しています。外部委託（ベネフィットワン・ヘルスケア及び全国訪問健康指導協会等）による支援を行いました。被扶養者への特定保健指導については平成25年度以降での実施を検討します。

(2) ライオン健康づくりセミナー（愛称 LIS21:Lion life Innovation Seminar21）

事業主と協同して、昨年に引き続き、生活習慣病予防のため35才到達被保険者を対象に「ライオン健康づくりセミナー」を行いました。平成24年度は前年同様、金土曜日の開催で、日本エアロビクスセンターにおいて1泊2日コースで2回実施し、参加者は53名でした。参加者のフォロー施策として事業体保健師による面談を実施し、受講後の健康取り組み状況把握及び継続指導を行ないました。

(3) ライオン歯科予防プログラム（愛称 ALOHA : All Lion Oral Health Activity）

歯科健診（ライオン歯科予防プログラム）を定期健康診断の必須項目に組入れ、被保険者（任意継続被保険者を除く）を対象に、要歯科指導対象者の再受診率の向上と予防処置及び事後指導を行い、延べ4,789名が受診しました。

3. 体育奨励事業

各事業所文体サークルの協力を得て、例年と同様に多彩な行事により、家族ぐるみでの体育行事を奨励し、健康づくりを進めました。

ライオン健康保険組合からのお知らせ

● 「被扶養者(家族)の確認」にご協力ください(平成 25 年8月下旬調書配布予定)

厚生労働省の通達により、被扶養者(家族)の現況を確認させていただくために、事業主を通して「被保険者・被扶養者調書」をお送り致します。被保険者の皆様には、収入がある場合や年齢などに応じて必要な関係書類の添付が必要となりますので、お手数をおかけ致しますが、期日までに提出していただきますよう宜しくご協力の程、お願い致します。

次の事項に該当した場合は、事業主を通じて、「被扶養者異動届」を当健保組合へ提出して下さい。

- ①就職が決まり会社に勤めるようになった。
- ②パート・年金等の年間収入が、60歳未満の方は130万円以上(障害年金受給の方は180万円以上)、60歳以上の方は180万円以上あるまたは見込まれる。
- ③結婚により配偶者(無収入または②の基準を超えていない)ができた。
- ④お子様が生まれた
- ⑤75歳(一定の障害のある方は65歳)になったとき⇒後期高齢者医療制度に加入します

尚、18歳以上のお子様(高校生は除く)は収入の有無にかかわらず、収入に関する資料(収入のある方:課税証明書又は雇用先での年間収入を証明した書類、収入のない方:非課税証明書)を提出して下さい。

● 平成 25 年度家族健康診断のご案内について

当健康保険組合は、35歳以上に加え、40歳以上から75歳未満の被扶養者および任意継続被保険者の方を対象に、家族健康診断が受診しやすい体制づくりを進めております。

平成 25 年度の家族健康診断につきましては、昨年と同様に、外部機関「三菱化学メディエンス株式会社 健康検診事業部」に“健診のご案内”から健診後の“健診結果”把握等の業務代行を委託しています。健診受診対象者の方々には、6月上旬に“健診のご案内”を直接お送りいたしました。

○前回より50歳以上の男性にPSA検査(前立腺がん腫瘍マーカー)が項目追加となっています。

ライオン健康保険組合からのお知らせ

● 医療費削減及び医療提供体制の向上に関して

① 診療時間内に受診しましょう

休日・深夜に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者を受け入れるためのものです。また、時間外の受診には、割増し料金がかかります。急病のときなど、やむえない場合を除き、なるべく診療時間内に受診するようにしましょう。

② ハシゴ受診はやめましょう

かかりつけの医師を持ち、気になることはまずかかりつけの医師に相談しましょう。また、同じ病気で複数の医療機関を受診することは、医療費の増加だけでなく、重複する検査や投薬によりかえって身体に悪影響を与える心配もあります。今の治療に不安があるときはその旨を伝えて話し合ってみましょう。

③ 薬の飲み合わせに注意しましょう

薬は飲み合わせによっては、副作用を生じることがあります。お薬手帳の活用などにより、既に処方されている薬を医師や薬剤師に伝え、飲み合わせには注意しましょう。

④ ジェネリック医薬品を使いましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、これまで薬効や安全性が実証されてきた先発医薬品と同等と厚生労働省が認めた低価格な医薬品です。ジェネリック医薬品を選択することにより、薬代の負担が軽減できるだけでなく、国の医療費の節減、医療保険財政の改善にもつながります。

⑤ 健康管理・健康づくりを心掛けましょう。

生活習慣病は慢性化して治りにくく、長期の治療が必要になり、医療費も多くかかります。日頃から、栄養・休養・運動のバランスのとれた生活を送り、健康づくりを心掛けましょう。

ライオン健康保険組合からのお知らせ

● ジェネリック医薬品への切替のお願いについて

医療費適正化に向けた取組みとして、平成23年8月からジェネリック医薬品への切替メリット(300円/月)が大きいと見込まれる対象者へ、ジェネリック医薬品への切替え通知を発送しています。

直近では平成25年2月発送の4回目の切替え通知に対して、約14%の人がジェネリック医薬品へ切替えが確認されました。又、25年7月に通算5回目の通知を発送しています。

ライオン健康保険組合の取組み

<目標>全国平均は、現在29.1%(数量ベース)であり、厚生労働省の目標値は30%です。

ライオン健保組合でのジェネリック比率は約28.8%で、全国平均を若干下回っています。全国平均を上回った後に、30%を目指します。

<考え方>

- ・ ジェネリックは医療費節減(適正化)の一環として有効な手段とされています。
- ・ ライオン健康保険組合の事業として、加入者の皆様方から賛同を得られました。
- ・ 何よりも地道に活動を継続することが重要と考えます。

今後も継続して実施します。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

【 ジェネリック医薬品通知 実施状況経緯 】

回	通知 発送月	効果 確認月	通知 対象 者 (人)	転換者 (人)	転換率	想定効果額 年間(千円)		効果額 (円) (3か月)	ジェネリック医薬品割合 ※()カッコ内は全国平均:厚労省				
						10割	健保 負担分		薬剤費		使用数量		全国平均 (厚労省)
1	23年8月	24年1月	798	86	10.8%	15,723	11,027	391,748	8.2%	(8.1%)	21.0%	(22.4%)	H22/10 ~H23/2
2	24年4月	24年8月	731	101	13.8%	14,521	10,216	256,630	9.4%	(8.4%)	22.3%	(23.0%)	H22/10 ~H23/3
3	24年9月	25年1月	641	100	15.6%	12,459	8,807	417,480	10.2%	(9.0%)	25.9%	(23.8%)	H24/2
4	25年2月	25年6月	613	88	14.4%	11,753	8,291	320,097	12.8%	(10.4%)	28.8%	(29.1%)	H24/12
5	25年7月	—	817	—	—	14,725	10,358	—	—	—	—	—	

ライオン健康保険組合からのお知らせ

●柔整師に関する照会ご協力のお願い

健康保険組合は、年々医療費は増加傾向にある中、皆様からいただいた保険料を有効に使用するため、健康づくり事業やジェネリック医薬品への切替通知等の医療費適正化施策を実施しています。

さてこの度「医療費適正化」の一環として、皆様が受診された、柔道整復師（整骨院・接骨院等）での、はり・灸、あんま、マッサージ等の請求内容適正化に向けた、確認を行うこととなり、これを外部専門機関であるガリバー・インターナショナル(株)（所在地：東京都中央区；以下略称：ガリバー社）に、業務委託することになりました。

これに伴い、施術内容・施術経過・負傷原因等について、柔道整復師から健康保険組合への請求において内容点検が必要と認められた場合は、皆様方に照会（問合せ）させていただく場合があります。

この照会は、柔道整復師からの請求内容が適正であるかを確認するためのものであり、外部専門機関に委託するのは、当健保組合では初めての試みですが、多くの健康保険組合では既に実施されています。

皆様の、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

●【健康保険組合の議員のご紹介】

健保組合の平成 25 年 7 月現在の議員は下記の通りになります。

ライオン健康保険組合議員名簿(任期:平成 23 年 7 月 15 日～平成 26 年 7 月 14 日)

選定議員：9名（うち、理事4名 監事1名）			互選議員：9名（うち、理事4名 監事1名）		
氏名 (選挙区)	組合役職	所属事業所	氏名 (選挙区)	組合役職	所属事業所
①笠松 孝安	理事長	ライオン(株) 本社	①内山 章	理事	ライオン(株) 研究所 平井企画管理部
②坂入 茂	常務理事	ライオン(株) 本社	②打越 香悦	理事	ライオン(株) 小田原工場
③川端 康嗣	理事	ライオン(株) 人事部	③久保 知己	理事	ライオン(株) 千葉工場
④鎌尾 義明	理事	ライオン(株) 経理部	④四宮 洋一	理事	ライオン(株) 労働組合
⑤中川 康太郎	監事	ライオン(株) 監査室	⑤井関 健	監事	ライオン(株) 経理部
⑥西川 一雄	(事務検査委員) 議員	ライオン歯科材(株)	⑥出口 美基夫	(事務検査委員) 議員	ライオン(株) 人事部
⑦林 善三郎	議員	ライオン(株) 大阪オフィス	⑦粉家 一晃	議員	ライオン(株) 大阪工場
⑧福田 健吾	議員	ライオン(株) 経営企画部	⑧菅原 亨	議員	ライオンエンジニアリング(株)
⑨藤本 潤	議員	一方社油脂工業(株)	⑨大屋 嘉彦	議員	ライオンパッケージング(株)

●【事務局メンバー】

平成 25 年 7 月現在の健保組合の事務局は下記の 5 名です。宜しくお願ひ致します。

事務長：酒井 俊祐
書記：庄 智彦
書記：野村 ゆり子
書記：西野 久美
(前事務長)：鈴木 隆久

ライオン健康保険組合 ☎03-3621-6171